

各位

2025年2月28日

会 社 名 株 式 会 社 ワ ン キ ャ リ ア 代表者名 代表取締役社長執行役員CEO 宮下 尚之

(コード番号:4377 東証グロース)

問合せ先 執行役員CFO 木村 智明

(TEL. 03-6416-4088)

## <u>決算に関するよくある質問と回答</u>

日頃より、当社に関心をお寄せいただきありがとうございます。2025年2月14日の2024年12月期通期決算発表後に投資家様よりいただいた主なご質問とその回答について、下記の通り開示いたします。

なお、本開示は投資家様への情報発信の強化とフェアディスクロージャーを目的とし、沈黙期間を除いた月末を目安に四半期に1~2回程度開示するものです。回答内容については、時点のずれによって多少の齟齬が生じる可能性がありますが、直近の回答内容を最新の当社方針として回答を記載しております。

## Q1. 2024年12月期の通期業績予想に対して、売上高が未達となった理由は何か。

一部のオフラインイベントについて学生集客の不調があり、その顧客対応に工数を割いたことで、売上創出に寄与する営業活動に制約が生じたことが理由です。

オフラインイベント不調の背景は、第4四半期が想定ほどコロナ後のオフライン回帰が進まなかったことによるものです。

コロナ期間に誕生したオンライン企業説明会など、就職活動における情報収集の選択肢が多様化したことで、当初想定よりも学生の集客に苦戦いたしました。

今後は付加価値の高いイベントを厳選して実施いたします。

Q2. グループイン (M&A) のターゲットを教えてほしい。また、グループインにより大きな資金需要が生じた際、減配や無配ということはあるか。

グループインの対象としては、いわゆる「飛び地」のような新領域ではなく、シナジー創出が見込まれる HR領域を中心に考えております。

グループインは一定の財務規律に従って行い、配当の継続に支障がないよう実施する方針です。

Q3. 2024年12月期と比較し、2025年12月期の業績予想では売上成長率も営業利益率も上昇しているが、どのように高めていくか。

売上成長率と営業利益率の上昇の背景には2点ございます。

- 1つ目はスカウトを始め、成長率が高い商品を伸ばしていくことです。
- 2つ目は2024年12月期以前に採用した人員の育成を進めることで、生産性を向上いたします。

## Q4. 2027年12月期以降の中期経営計画の開示予定はあるか。

2027年12月期以降の中期経営計画は2026年2月に開示予定です。

以上